

やる気スイッチと周りに感謝の気持ち

教務部長 中村 弘治

平成から令和へ年号が変わり、令和元年度も前期が終了しました。今年度は、二四〇名の新入生を迎え、全校生徒六七二名でスタートしました。桜陽高校には、進路指導部、生徒指導部、生徒会、保健部、図書部、総務部、教務部、事務部の八つの部署があり、皆さんをはじめ地域、PTA保護者、OB等と連携を図りながら、生徒の皆さんをサポートしています。その中で、教務部は、時間割や高体連時期の特別時間割の作成をはじめ、成績処理や学力実態調査など、学校運営の主に学習に関する部分を担っています。さて、桜陽生は、礼儀正しく、ボランティア活動などに前向きで、地域の方からお褒めの言葉をいただくことがあります。私が思う桜陽生の良い所の一つは、何ととっても挨拶のすばらしさです。周りに

も気を使えるところもすばらしいと思います。学習はといえば、少しのんびりしている・・・といったところでしょうか。以前にも教務部長をさせていただいた時があるのですが、長期休業には何時間勉強しているのか集計するために調査をしたことがあります。昔も今も平日と休日の学習時間平均はさほど変わっていません（平日平均一時間未満、休日一・二時間程度）。やる生徒はすごくやるし、しない生徒は全くといっていいほどしません。そこで、私が授業を受け持っているクラスに、授業アンケートを行ったことがあります。が、「宿題があればやる」、「やらなければいけないと思うけどやる気が沸かない」という声があり、大変不安な気持ちになったことを思い出します。では、やる気を出すに

はどうすればよいと思いますか。結論を言えば結局は「本人がその気にならないとやらない」のだと思います。親にも先生にも「勉強しなさい」とよく言われる、という生徒がいまいたが（以外と多い）、やらされているという印象が強くなり、むしろ逆効果になるようです。つまり、本人のやる気のスイッチが入らないと受験生としての土台に立つことはできないのだと思います（そうといわれても親としては大変心配になるのですが）。大学受験や就職試験は、もちろん大切ですが、もっと先を想像してほしいと思います。自分が大学生や社会人となった姿を想像してみてください。いったんゴールを想像すると、そこから先の人生で本当に使う、本物の知識や知的能力が見えてくるのではないのでしょうか。英語を必要とする職業に就きたいならば、英語検定に挑戦する。公務員や就職したいのであれば一般教養の問題集を購入してみる。とか、一歩を踏み出してみてください。そ

して、その知識や知的能力を「今から先取りして準備しておく」つもりで、目の前にある勉強をしてみてください。また、保護者の方はお子さんから一歩引きついても見張ってください。親の目から見れば、スマホでネットサーフィンをしているよりは、勉強している我が子の姿を見ると「ほっ」とするのではな

日々の生活習慣（服装、言葉遣い、気遣いなど）を確立し、学習面では、習熟度・少人数授業による手厚い指導、並びに講座、課題による指導も今後に向けて力を入れていきます。桜陽高校に入学した時の学校生活や将来の夢を今一度、振り返ってください。果たして、今の学校生活は順調ですか。

桜陽高校の最終目標は、「自分を生かし、世の中に貢献できる志の高い人材」の育成です。簡単にいえば、「自立する」ということです。一日も早くやる気にスイッチを入れましょう。

◆対面式の様子◆


